



子育て世代から高齢者まで 沢山の方に聞いてもらいたい



～東日本大震災の経験から学ぶ～ 安心して暮らすために ホントに必要な防災備蓄

子育て真最中に東日本大震災を経験した防災士から、防災備蓄や防災リュックの作り方、防災士が実際に自宅で備蓄している防災グッズの紹介をしてもらいます。また「新聞紙で作るスリッパ」と「ポリ袋で作るポンチョ（雨合羽）」の防災グッズの手作り体験もあります。子育て世代から高齢の方まで幅広い世代の方が対象です。ぜひご参加ください！

日 程：令和7年3月13日(木)

時間・会場：①10:00～12:00

歴舟地域コミュニティセンター

②13:30～15:30

大樹町福祉センター「中会議室」

《講師プロフィール》

徳本里栄氏 Remieux Life (レミューライフ) 代表
防災士・整理収納アドバイザー

2011年3月11日、宮城県仙台市にて震度6の東日本大震災を経験。当時、夫は単身赴任中、第1子は6歳、第2子は生後3カ月。頼る人もいない中、わが子を余震の続く暗闇で守った経験を持つ。(HPより一部抜粋)



申し込み先》 大樹町社会福祉協議会 ☎6-4130

締め切り》 令和7年3月6日

参加料》 無料

持ち物》 はさみ・油性ペン(線を引きます)

既に防災リュックをお持ちの方はご持参ください。